

令和7年1月10日

尾道市長 平谷祐宏 様

尾道市総合戦略評価委員会
会 長 荒 井 貴 史

デジタル田園都市国家構想交付金等事業の評価について

【評価結果】

尾道市がデジタル田園都市国家構想交付金等を活用し、令和5年度に実施した2事業は、地方創生に対して有効であったと評価する。

・尾道市スマートシティエコシステム構築事業

(評価理由)

実証実験によって、デジタル技術の活用を広く知ってもらう貴重な機会を作ったうえ、効果を期待できる事業を様々に実施しており、地域のDXが加速しているため。

(指摘事項)

継続的かつ持続的に仕組みづくりを推進しながら、取得したデータの活用方法をさらに検討し、事業終了後も引き続き、「市民、団体、企業との共創によるスマートシティの推進」に努めていただきたい。

・尾道移住コンシェルジュ推進事業

(評価理由)

移住希望者が抱える様々な疑問や課題に対して、広範かつ実践的なサポートが提供されており、これまでの移住促進に係る取組から見えてきた課題に対応することで、30～40代の子育て世代が多く移住しているという実績を上げるなど、着実に成果を出せているため。

(指摘事項)

引き続きニーズを共有しながら、移住者が真の地域コミュニティのメンバーとして活躍できるように、継続的なフォローを期待する。